



## イラク戦争の悲惨な現実

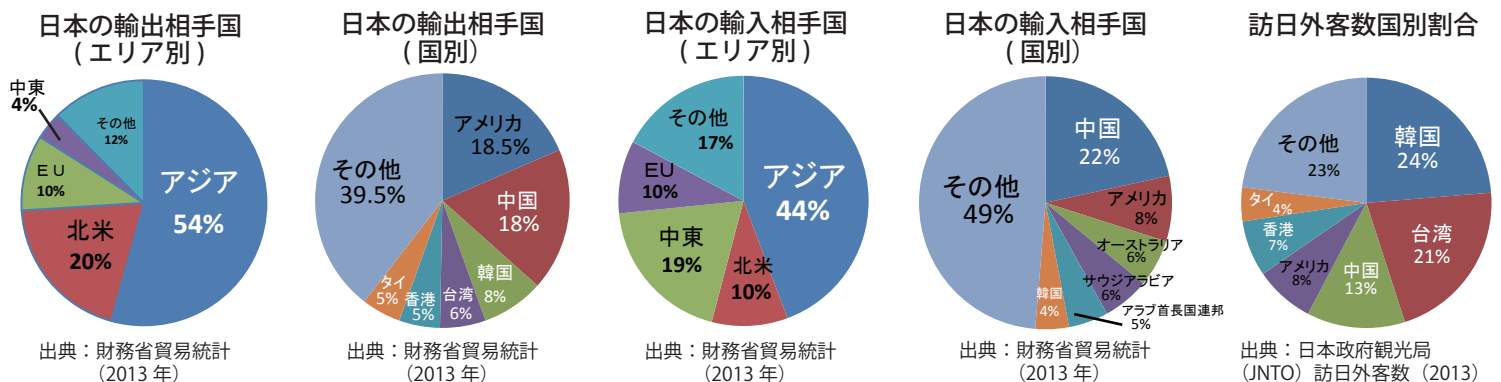
2003年のイラク戦争では、米国は国土を攻撃されたわけではなく、イラクはアルカイダと密接な関係がある、イラクが大量破壊兵器を持っているから危険だという名目で戦争に突入しようとしていました。国際機関が間に入り専門家200人以上、900回以上に及ぶ調査の結果、「大量破壊兵器」は見つかりませんでした。その報告を受けても米国は戦争を開始。イラクはアルカイダとは密接な関係になかったし、結局、大量破壊兵器も持っていなかった。のちになって米国政府が過ちを認めたとき、すでに数十万から数百万人のイラク人が殺害されていました。イラクの「安全保障環境」は今も改善されていません。



## 米国が血を流しているのに、日本は？

何故、米国が世界で起こす大義なき戦争の為に日本が血を流す必要があるのでしょうか？  
ベトナム戦争・グレナダ侵攻・パナマ侵攻・湾岸戦争・ソマリア派兵・ハイチ武力介入・スーダン・イラク攻撃・ユーゴ空爆・アフガニスタン戦争・イラク戦争・リベリア派兵・ハイチ派兵・ソマリア空爆・リビア攻撃  
以上は米国が起こした戦争の一部です。

自衛隊はこれまで軍隊としてではなく、救援やインフラ整備によって戦禍で荒廃した国を支援し、人々から感謝されてきました。日本が集団的自衛権を行使して、テロとの戦いに参加すれば、当然、日本もテロの標的となります。日米安保条約第5条では、米国は日本の施政下であれば共通の危険に対処するが、日本は「対米防衛義務」を負っていません。だからこそ日米安保条約第6条で、「対米防衛義務」を負っていない「不均衡」の見返りとして、日本全土を基地として使用できる権利、それにかかる費用を日本が持つ「思いやり予算」が設けられたのです。



円グラフを見ていただければ一目瞭然。わが国の貿易相手、お得意様はアジアです。観光客としてもアジアのお客様が数多く訪日されています。緊張を生む政治行動や戦争も辞さないと言う雰囲気、どれ程の国益を損なうか、考えて下さい。この国に生きる人々の利益を守る為には、隣近所（周辺諸国）と上手にやっつけていかねばならない事は子どもでも理解できる話。軍事的緊張を高める事に力を注ぐのではなく、良い関係性を築ける外交に力を入れるべきではないでしょうか？外交のドアは開かれている、と豪語する安倍総理。中国や韓国が首脳会談にも応じてくれない状況を理解されていますか？



## 最大の安全保障は 敵を作らない、敵をなくす、緊張を作り出さない。

安倍首相は、「国民の命と生活を守るために、集団的自衛権の行使は必要」だと言っていますが、実際は国民の命と生活を守るためには

**集団的自衛権の行使、必要なし** です。

